

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	中国語演習		
英文授業科目名	Intermediate Chinese		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	孫 月鷲		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ajioka19540503@yahoo.co.jp	

【主題および達成目標】
<p>本授業は基本的な発音、初級文法を学んできた学生を対象にした授業。一年生でまだ習得できてない中国語の発音をもう一度やり直し、本文の朗読などの練習を通じて発音をチェックする。また、これまで学んできた語彙、文法を復習しながらさらなる理解力の増進をはかり、読む、書く、聞く、話す練習を重ね、総合的な力を養うことを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
中国語第一、中国語第二。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
選択中国語第一、選択中国語第二。

【教科書等】
<p>教科書：範建明・沈麗華・張仕英『中国語ディリライフ・読解と会話』朝日出版</p> <p>参考書：『実用中日・日中辞書』隆美出版</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

テキストに従って、ほぼ2週間で1課を終えるように進めたいと考えている。1課の内容を本文と練習問題で構成するので、一回目の授業では朗読、文法の説明を中心にして、翻訳を学生に順番にやってもらう。二回目の授業では練習問題を中心に、基礎文法を応用して作文と日常会話を行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中の問題に対する回答、小テストの成績、出席状況、期末テストなどを総合して評価する。

出席率が足りないものには単位を与えない。

【オフィスアワー：授業相談】

授業の前後に教室で行う。

【学生へのメッセージ】

積極的に学習する態度が望ましい。語学の勉強には毎日の予習、復習が欠かせないものである。授業日以外の日にも予習、復習をしてほしい。

【その他】

なし。